会議録

1 附属機関の名称

犬山市訪問看護ステーション運営協議会

2 開催日時

令和6年7月3日（水） 午後1時30分から午後2時00分まで

3 開催場所

犬山市役所 503会議室

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 押谷重昭、宮崎貢一、榊原吉峰、桑原 生秀、小川 清美、岡村 千里、
沼 靖子、須田 由美、舟橋 尚女、粥川 遼
- (2) 執行機関 健康福祉部 高木部長
健康推進課（水野課長、武内課長補佐、川瀬統括主査）

5 議題

- (1) 犬山市訪問看護ステーションの廃止について
- (2) 犬山市訪問看護ステーション実績等事業報告

6 傍聴人の数

0人

7 内容

- (1) 会議録への署名は、榊原委員、岡村委員が行うこととなった。
- (2) 犬山市訪問看護ステーション廃止の、4月以降の動きについて説明。
利用者への丁寧な説明で、5月以降の受け入れ先は早い段階で決定し、4月末をもって訪問看護ステーションを廃止した。国、県への報告、尾北医師会との変更契約を締結し、犬山市訪問看護ステーションの設置及び管理に関する条例及び犬山市訪問看護ステーションの設置及び管理に関する条例施行規則の廃止は9月議会に上程する。
榊原委員より、引継ぎが無事終了したこと、ご迷惑をかけた旨謝罪の言葉あり。
- (3) 令和5年度収支報告、令和6年4月までの実績報告を資料により説明。

【質疑応答】

委 員 :利用者さんの受け入れ先は主に市内ですか。施設名に鶴沼、小牧と入っているところ以外についてお聞きしたい。

- 事務局：むすびケアは可児市です。市外が3名、他に家族の住んでいる地区へ戻られた方がいます。
- 委員：カルテは何年保存するとかその辺を詳しく聞かせてください。
- 事務局：カルテの保存期間は5年となっており、休日急病診療所の2階で保管します。
- 事務局：主体は犬山市です。訪問看護ステーションはなくなりますので、今後必要な期間については、犬山市の方でしっかり保存をしていくという形となります。
- 委員：市内に民間のところは10ヶ所あるということですが、いろんな報道によりますとこの5年間でこの訪問看護ってというのは、事業者が、都市部では結構増えているということなんですけれど、逆に地方では、結構減っていて5年間で、全国で8600ヶ所の廃止になっているという情報があるんです。なので、犬山ではそういった民間さんが増えてきたのでということで、ありがたい話ではあるんですが、やはり国ですね、報酬の方が削減ということもありますし、そういったこともこれから影響してくるのではないかなと思いますけれど、どこも厳しい経営状況だと思いますがそういったことについての情報があればまた教えてください。
- 事務局：増える、減るといった情報は入ってきていないのが実情です。
- 事務局：犬山市においてはここのところ、増えたり減ったりしながら10件という形で推移しています。
- 事務局：現時点において、アンケートの方でも10施設と言ったらいいのでしょうか10ヶ所、まだ受け入れ規模には余裕があるといったようなところで、今回の判断をいたしました。今後どうなっていくのかっていうところは、やはり読めないところがあります。
- 全国トレンドでいくのか、犬山市が地方特有のトレンドでいくのかということとは読めないところがありますが、県内においてもこれで最後の公立の訪問看護ステーションがなくなったということで、県内にはもう1ヶ所もなくなります。市民病院を持っているところは別ですけども、病院として機能を持っているものですから。ですから、今後、例えば施設が少なくなってきたとしても、すぐ再開するかっていうところの判断には至らないというふうに考えています。